

チームを支える仲間として 膨大なデータ解析に大きく貢献してくれました。



ギラヴァンツ北九州
取締役ゼネラルマネージャー 池西 希さん

01

有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

大学を訪問した際に、紹介していただきました。九工大生のノウハウで、私たちのクラブに足りないリソースを補う助けになるのではないかと考え、社長に相談したところ、スムーズに導入が決まりました。工業系の大学の中でも九工大生が優秀なのはわかっていましたから、仲間になってくれるのは心強いと感じました。

02

有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

サッカーに限らず、今のスポーツ界では蓄積したデータをどう利用するかが一つのテーマになっています。データ解析のスキルが必要になりますが、実際にはデータを専門に扱える人材は非常に少ないのが現状です。その点、専門的な知識やスキルがある九工大生なら、十分に対応してもらえると感じていました。実際、とても助かっています。



03

インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

勤務形態は、基本はリモートのフルフレックス制です。九工大生も仕事には真摯に向き合っていますし、コミュニケーションもとれ、十分な信頼関係が築けています。実は九工大とは共同研究もしており、九工大生に頼んだ仕事で教授にアドバイスをもらうこともあります。本当に安心して任せられる環境が整っています。

04

この制度を活用して得られた成果はありますか？

今まで収集してきた膨大なデータを解析するために、プログラムを構築してもらいました。欲しいデータを数秒で収集できるようになり、作業効率が飛躍的に上がりました。人材育成の面からも、学生が貴重なプロスポーツチームのデータに触れることで、サッカーの面白さや仕事のやりがいを感じてくれることにも期待しています。

参加学生の声

Student's voice

私は、これまで学んできたプログラミングをサッカーに活用したいという思いから、ギラヴァンツ北九州様のインターンシップに応募しました。インターンでは、選手採用における走行距離などの自動抽出機能の開発や、チーム情報の自動抽出、さらにはクラブのデータ分析など、実務に直結する業務に携わらせていただきました。私が作成したプログラムが実際にチーム内で活用され、「ありがとう」と言ってくれた瞬間は、特にやりがいを感じました。技術面では、Pythonを用いてデータの自動抽出から機械学習モデルの作成、分析まで一連の流れを実装する経験を積むことができました。また、週に一度のミーティングで進捗を共有しながら取り組むことで、仕事の進め方や報告の仕方についても多くを学びました。先生との対面でのやり取りや、クラブの皆様とのオンラインミーティングを通じて、遠隔でのコミュニケーション能力も向上したと感じています。インターン参加前後を比較すると、統計の知識や論理的思考能力が大きく伸びただけでなく、データ分析の結果をわかりやすく伝えるコミュニケーション力も成長したと実感しています。実務の中で機械学習モデルを構築しながらデータを扱う経験は、大学の学びだけでは得られない貴重なものでした。

情報工学部 知的システム工学科 ロボティクスコース 4年

ギラヴァンツ北九州

Company overview

<https://www.giravanz.jp/>

代表取締役社長：石田 真一
〒802-0001
北九州市小倉北区浅野3-1-26
あべりあ浅野ビル1F



ギラヴァンツ北九州は、北九州市をホームタウンとするプロサッカークラブです。クラブ名の「ギラヴァンツ」は、イタリア語で「ひまわり」と「前進する」を意味する言葉を組み合わせた造語で、北九州市の市花であるひまわりのように、常に前向きな姿勢を表しています。クラブ理念は「スポーツの力で、人を、まちを、もっと豊かに」。地域の誇りとなり、人とまちをつなぐ存在を目指し、ホームスタジアム「ミクニワールドスタジアム北九州」を拠点に活動しています。また、地域貢献やスポーツ振興に努めており、北九州市周辺の自治体との間で「フレンドリータウン協定」を締結しています。

